福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	母子会・父子会補助事業							事業コード	030201430325		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり			
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成							施策コード	322	
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課					所属長	阪根 孝則			
会計情報	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	01児童福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	121	頁
計画期間	開始年度	昭和30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法、福知山市母子寡婦福祉会及び福知山市父子福祉会活動補助金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 母子寡婦福祉会の活動に対し活動補助金を交付しているが、会の会員数の減少や役員の高齢化、若い会員の積極的な参画が少なく、会の活動回数も減少している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 母子寡婦福祉会、父子福祉会ともに会員減少により会の存続が困難になりつつある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 福知山市母子寡婦福祉会及び福知山市父子福祉会の活動を支援し、母子家庭及び父子家庭の福祉の向上と地域全体で子育てを支える機運の醸成を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 母子寡婦福祉会、父子福祉会が福祉の向上や交流促進を目的として実施する事業に対し、補助金を交付する。

対象者	母子寡婦福祉会、父子福祉会会員	対象者数	28	単位あたりコスト	31.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
負担金補助及び交付金	72	母子寡婦福祉会事業補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		254	251	251	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			254	251	251	
予算財源内訳	① 一般財源		254	251	251	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		△ 104	0		
	② 配当予算		150	251		
	③ 執行額		150	72		
	④ 執行率		100.0%	28.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.07 / 0.00	0.10 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		560	800		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			710	872		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	53	65	30	79		
	会が実施する事業への参加人数	目標値		51	53	65	70	75	
		達成度	%	104%	123%	46%	113%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	5	5	5	14		
	母子寡婦福祉会の事業を行った回数。	当初見込		6	5	5	5	5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	母子福祉会・父子福祉会の活動に対し活動補助金を交付する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	孤立しがちな母子家庭、父子家庭のつながりや情報共有の場である、母子寡婦福祉会、父子福祉会の活動を支援することは、会が事業を実施していくうえで意義がある。【定性的評価】 母子寡婦福祉会の活動は継続しているが、父子福祉会の活動は新型コロナ感染拡大予防の影響で令和2年度以降中断しており、父子家庭間での交流ができない事は父子家庭の子育てを支えあう機運の醸成を図るうえで課題である。【課題】
現状の課題に対する改善策	会員を増やすため、こども福祉課の窓口に、会が作成したチラシを置いて周知している。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	子ども・子育て支援事業計画推進事業							事業コード	030201430353		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり			
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成							施策コード	322	
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課					所属長	阪根 孝則			
会計情報	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	01児童福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	121	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	子ども・子育て支援事業計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	子ども・子育て関連3法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	こどもに関する事業全般										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 令和3年に「子供・若者育成支援推進大綱」が策定され、「全ての子供・若者が自らの居場所を得て、成長・活躍できる社会を目指し、子ども・若者の意見表明や社会参画を促進しつつ、社会総掛かりで子供・若者の健全育成に取り組んでいく」方向が示され、本市も取組を進めている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 人口予測を超えるスピードで少子化が進行しており、こども・子育て支援の今後の方向性についてさらなる注視をしていかなくてはならない。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） こどもをまんなかに、多様な世代や地域が関わり合い、こどもの健やかな育ちと子育てを社会全体で支えるまちをめざす 「第3期子ども・子育て支援事業計画」等に基づき、教育、保育、子育てに関する事業の進捗状況や、今後の方向性等について確認する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・第3期子ども・子育て支援事業計画の進捗管理 ・こども・若者計画の策定 ・上記に係る子ども・子育て会議の開催（5回）、及び審議

対象者	子ども・子育て会議委員	対象者数	14	単位あたりコスト	367.0
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	392	委員報酬			
需用費	124	消耗品費、印刷製本費			
役務費	212	通信運搬費			
使用料及び賃借料	9	施設使用料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	5,386	992	725	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	5,386	992	725	
予算財源内訳	① 一般財源	5,386	684	725	
	② 国支出金	0	308	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	954	△ 254		
	② 配当予算	6,340	738		
	③ 執行額	6,315	738		
	④ 執行率	99.6%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.40 / 0.00	0.55 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,200	4,400		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		9,515	5,138		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	2	4	5		
	子ども・子育て会議実施回数	当初見込		1	2	4	4	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	子ども・若者計画の策定等に係る会議の開催								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	【課題】子ども・子育て会議を5回開催し、第3期計画の進捗管理やこども・若者計画の策定に係る審議を行い計画が策定できた。 中学・高校生、大学生及び若者の意見を聞き取り施策に生かすことが今後の課題である。
現状の課題に対する改善策	児童虐待相談件数の増加や子どもの貧困問題、不登校件数の増加、ヤングケアラー問題など、こどもを取り巻く環境も年々変化しており新たな支援が必要。 子ども・子育て会議で審議のうえ、対策を進めていく。 また、子ども・子育て会議への高校生の参加について、市内の高校と調整を行っていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	児童扶養手当事業					事業コード	030202430313			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり				
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322			
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課			所属長	阪根 孝則				
会計情報	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	02児童措置費	会計	01 一般会計	決算附属資料	123・124 頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	児童扶養手当法、福知山市児童扶養手当の支払に関する規則、特別児童扶養手当等の支給に関する法律									
事業区分	☑ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	福祉医療費（ひとり親）支給事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ひとり親世帯は経済的に困難な家庭も多く生活の安定と子どもの成長を図るために経済的支援が必要である。 また、京都府から受託している特別児童扶養手当等事務事業を実施し、安心して出産、子育てができる環境の充実を図る。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ひとり親世帯であることや受給者及び扶養義務者の収入把握が難しい。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ひとり親家庭等の児童の心身が健やかに成長するため、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進する。 また、京都府から受託している特別児童扶養手当等事務事業を実施し、安心して出産、子育てができる環境の充実を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇児童扶養手当 ひとり親家庭等において、児童（18歳到達の年度末まで）を養育している人に所得に応じて支給する。（所得制限額あり） 〇特別児童扶養手当 身心に中程度以上の障害のある児童（20歳到達の年度末まで）を養育している保護者に支払われる。市で認定請求、現況届などに関する届出を受け付け、速やかに京都府に進達する。京都府が認定し、厚生労働省が請求者に振り込む。（所得制限額あり）

対象者	児童扶養手当受給者、特別児童扶養手当受給者	対象者数	714	単位あたりコスト	416.7	
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	京都電子計算株式会社					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	191	消耗品費、光熱水費			
役務費	663	通信運搬費			
委託料	182	開発・改修業務			
扶助費	290,850	児童扶養手当			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	308,642	296,919	300,910	0
	② 補正予算	△ 20,855	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		287,787	296,919	300,910	
予算財源内訳	① 一般財源	192,080	197,914	200,592	
	② 国支出金	95,707	99,005	100,318	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 2,960		
	② 配当予算	287,787	293,959		
	③ 執行額	287,223	291,885		
	④ 執行率	99.8%	99.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.08 / 0.95	0.20 / 1.45	/	/
	② 概算人件費	3,300	5,660		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		290,523	297,545		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	児童扶養手当給付費	民生費国庫負担金	97,070	14	
	特別児童扶養手当事務	民生費国庫委託金	455	20	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	668	655	627	596		
	現況届提出期間に届け出をした人数	目標値		757	744	736	708	680	
		達成度	%	88%	88%	85%	84%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	3	3	3		
	現況届未提出者への督促	当初見込		3	3	3	3	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	2年続けて現況届未提出者へ提出の督促を行い、と提出がなされなければ喪失となる案内をしている。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○児童扶養手当 ・児童扶養手当法に基づき手当を支給した。児童扶養手当の給付により、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進することができている。 ・ひとり親世帯であることや受給者及び扶養義務者の収入把握が難しい。 ○特別児童扶養手当 ・受給者が年１回所得状況届を市へ提出、京都府に進達することにより手当が支給されるため、円滑かつ速やかに進達事務を進めることにより受給者に手当が適切に支給されている。 ・受託事務であるため、京都府と連携しながらの事務となる。
現状の課題に対する改善策	○児童扶養手当 ・児童扶養手当法に基づき、適正に事業を実施する。 ○特別児童扶養手当 ・京都府と連携しながら、事務を進める。 ・京都府への進達は、不備等で返戻されることないよう慎重に確認をし、かつ速やかに行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	児童手当事業						事業コード	030202430504		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり		
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成					施策コード	322		
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課					所属長	阪根 孝則		
会計情報	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	02児童措置費	会計	01 一般会計	決算附属資料	124 頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	児童手当法									
事業区分	☑ 法定受託事務	☐ 国府補助事業	☐ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）					
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 子育て家庭等における生活の安定に寄与する とともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 公務員への児童手当の支給は職場からとなっており、把握が困難。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 児童を養育する人に手当を支給することにより、家庭等における生活の安定と次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 0歳から高校3年修了前までのこどもを養育している家庭に手当てを支給する。 (児童手当) ・0歳から3歳未満　月額15,000円　（第3子以降　月額30,000円） ・3歳から高校修了まで　月額10,000円　（第3子以降　月額30,000円）

対象者	0歳から高校3年修了までの乳幼児、児童、生徒	対象者数	11,174	単位あたりコスト	140.5
実施方法	☑ 直接実施　☑ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	㈱ケーケーシー情報システム、京都電子計算株式会社				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	197	消耗品費、印刷製本費			
役務費	245	通信運搬費			
委託料	839	開発・改修業務			
備品購入費	96	庁用備品			
扶助費	1,561,625	児童手当			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		1,278,706	1,478,467	1,552,155	0
	② 補正予算		△ 39,755	81,765	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			1,238,951	1,560,232	1,552,155	
予算財源内訳	① 一般財源		157,812	148,678	147,151	
	② 国支出金		924,457	1,264,395	1,258,360	
	③ 府支出金		156,658	147,135	146,620	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		24	24	24	
決算情報	① 流充用額		△ 5,464	2,960		
	② 配当予算		1,233,487	1,563,192		
	③ 執行額		1,229,312	1,563,002		
	④ 執行率		99.7%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.92 / 0.35	0.64 / 0.61	/	/
	② 概算人件費		8,340	6,828		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			1,237,652	1,569,830		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
児童手当負担金	民生費国庫負担金	1,267,770	14	
児童手当負担金	民生費府負担金	147,442	21	
児童手当支払証明手数料	民生手数料	2	12	
児童手当事業（子ども・子育て支援事業費補助金）	民生費国庫補助金	282	16	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	103,677	100,685	109,348	115,133		
	児童手当支給延人数	目標値		110,388	109,236	108,060	110,520	108,309	
		達成度	%	94%	92%	101%	104%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	2	2		
	広報ふくちやま、市ホームページを活用しての周知回数	当初見込		2	2	2	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	児童手当の支給（年6回）								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	児童手当法に基づき手当を支給することにより、子育て世帯の生活の安定と、こどもの健やかな成長に資することができた。 国庫負担金、府負担金を活用し、手当の支給を円滑に行うことができている。 今後も、手当の支給が通常期払から遅れることがないよう諸届、申請の適切な提出を促す。
現状の課題に対する改善策	市のホームページや広報誌などにより諸届、申請の適切な提出を促す。 また、児童手当の諸手続きについて、電子申請（ぴったりサービス）の利用を促す。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	児童館運営事業（地域交流・子育て支援・人材育成）							事業コード	030203430205		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり			
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成							施策コード	322	
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課					所属長	阪根 孝則			
会計情報	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	03児童福祉施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	126	頁
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	児童福祉法、児童館条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	児童館管理経費事業、児童館改修事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 すべての人が基本的人権を生まれながらにして持っていて、かけがえのない個人として尊重されるという認識のもと、同和問題（部落差別）や女性、こども、高齢者、障害のある人、外国籍の人などに対する差別など一切の差別を許さず無くしていく意欲と実践力を持った人材の育成を図る。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 少子化の進行と、小中学生の習い事増加など、放課後の過ごし方が変化してきており、利用者数の増加は見込みにくく、学習会などの個別事業を周知しても、事業によっては集まりにくい状況にあり、こどもたちの人材育成を図っていくことが困難となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 地域交流・子育て支援・人材育成を目的とした各種事業を通じて、こども同士、こどもと地域住民等との交流を深め、地域のつながりを強化する。こどもが安心できる居場所を確保し、こどもと保護者に寄り添う子育て支援を行う。人権学習等を通じて差別を許さない人材を育成する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 児童館活動の柱である大きな3つの事業を実施する。 (1)人材育成：差別を許さず見逃さない意欲と実践力を持った人材の育成 (2)子育て支援：子どもが安心できる居場所、子育て支援の推進 (3)地域交流：児童館まつり・文化祭・やんちゃフェスタ等を通じ、子ども同士・地域住民等との交流を深め、人権文化の定着を図るとともに社会参加活動を推進する。

対象者	市内の乳幼児から中学生まで	対象者数	9,066	単位あたりコスト	9.3
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	名鉄観光サービス株式会社 京都支店、特定非営利活動法人劇団 風の子 関西、株式会社日本旅行 TiS福知山支店、有限会社慶和				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	801	講師謝礼			
旅費	73	普通旅費・研修旅費			
需用費	1,143	消耗品費、燃料費、印刷製本費			
委託料	2,345	その他の業務委託			
使用料及び賃借料	401	施設使用料等、自動車借上料、駐車料・高速道路等通行料			
負担金補助及び交付金	240	研修等参加負担金、母親クラブに対する運営補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	5,767	5,745	6,040	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		5,767	5,745	6,040	
予算財源内訳	① 一般財源	4,015	4,139	4,270	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	1,659	1,513	1,677	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	93	93	93	
決算情報	① 流充用額	△ 620	△ 743		
	② 配当予算	5,147	5,002		
	③ 執行額	5,108	5,002		
	④ 執行率	99.2%	100.0%		
人件概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	3.80 / 15.40	3.55 / 18.20	/	/
	② 概算人件費	73,520	79,360		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		78,628	84,362		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	人権問題啓発事業（児童館）	民生費府補助金	20	23	
	地域交流活性化支援事業補助金（児童館）	民生費府補助金	1,615	23	
	文化祭模擬店負担金（児童館）	雑入	42	44	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	12	12	12	12		
	児童館だよりの発行	目標値		12	12	12	12	12	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	42,549	51,006	49,423	49,117		
	延べ施設利用者数	当初見込		31,120	42,549	51,006	49,423	51,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	児童館だよりの発行により事業や教室の案内。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	人権学習などの各実施事業を（人材育成事業）（子育て支援事業）（地域交流事業）の3事業に位置づけし実施した。（定性的評価） 児童館の利用をすすめ、こどもたちの居場所となるような事業実施、運営につとめることができた。 少子化の進行と、小中学生の習い事増加など、放課後の過ごし方が変化してきており、学習会などの個別事業を周知しても、事業によっては集まりにくい状況にあり、こどもたちの人材育成の評価を定量的に行う事が困難である。
現状の課題に対する改善策	事業参加や施設利用者数が減少しているので、事業に参加しやすいように事業内容や実施方法などを工夫する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	児童館管理経費事業						事業コード	030203730107		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり				
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成					施策コード	322		
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課			所属長	阪根 孝則				
会計情報	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	03児童福祉施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	127 頁
計画期間	開始年度	昭和55年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	児童福祉法、児童館条例									
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☐ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他	（ ）				
関連事業	児童館運営事業、児童館改修事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 児童館の管理運営に係る経費
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 施設が老朽化しているため安全に使えるよう施設の維持管理に努める。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 児童館が児童厚生施設としての機能を維持し、児童が安心して遊び、学べる場所を確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 児童館施設の機能確保のため、電気・通信・上下水道の維持のほか施設小修繕や機械警備業務・遊具点検業務の費用を支出する。

対象者	市内の乳幼児から中学生まで	対象者数	9,066	単位あたりコスト	6.7
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	株式会社旭開発				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	98	特別旅費	負担金補助及び交付金	291	負担金
需用費	8,242	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料			
役務費	1,414	通信運搬費、手数料、保険料			
委託料	555	維持管理業務、警備業務、廃棄物等収集業務			
使用料及び賃借料	1,252	複写機使用料、その他機器等借上料			
備品購入費	631	庁用備品、図書			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	11,663	11,202	10,949	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		11,663	11,202	10,949	
予算財源内訳	① 一般財源	10,545	10,084	9,832	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	980	980	980	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	138	138	137	
決算情報	① 流充用額	2,296	1,282		
	② 配当予算	13,959	12,484		
	③ 執行額	13,959	12,484		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	2.22 / 10.60	3.35 / 7.80	/	/
	② 概算人件費	47,440	48,640		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		61,399	61,124		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	隣保館運営費等（児童館）	民生費府補助金	980	23	
	電柱占用料（児童館）	民生使用料	19	8	
	その他使用料（児童館）	民生使用料	1	8	
	南有路児童館光熱水費	雑入	104	41	
	南佳屋野児童館コピー代	雑入	15	43	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	12	12	12	12		
	児童館だよりの発行	目標値		12	12	12	12	12	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	42,549	51,006	49,423	49,117		
	延べ施設利用者数	当初見込		31,120	42,549	51,006	49,423	49,117	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	児童館だよりの発行により事業や教室の案内。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	人権学習などの各実施事業を（人材育成事業）（子育て支援事業）（地域交流事業）の3事業に位置づけし実施した。（定性的評価） 児童館の利用をすすめ、こどもたちの居場所となるような事業実施、運営につとめることができた。 少子化の進行と、小中学生の習い事増加など、放課後の過ごし方が変化してきており、学習会などの個別事業を周知しても、事業によっては集まりにくい状況にあり、こどもたちの人材育成の評価を定量的に行う事が困難である。
現状の課題に対する改善策	事業参加や施設利用者数が減少しているので、事業に参加しやすいように事業内容や実施方法などを工夫する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	児童館改修事業							事業コード	030203730115		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり			
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成							施策コード	322	
事業担当	所属	170100 こども家庭部こども福祉課					所属長	阪根 孝則			
会計情報	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	03児童福祉施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	127･128	頁
計画期間	開始年度	昭和60年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	児童福祉法、児童館条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	児童館運営事業、児童館管理経費事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 児童館は昭和55年から平成5年の間に竣工しており、最も新しい館でも築30年以上経過し老朽化している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 老朽化による施設機能の低下が著しいため計画的に施設改修を実施する必要があるが、改修費用が高額である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 児童館の環境が、利用者にとって安全かつ快適な状態である事を維持するため、必要に応じた改修を実施する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 児童館は昭和55年から平成5年の間に竣工しており、最も新しい館でも築30年以上経過していることから、施設本体では雨漏りの発生や付属設備である空調設備等も相次いで故障するため、必要に応じて改修を実施する。 夏季に遊戯室が高温になり、遊戯室で遊ぶことができない状況が続いているため、計画的に空調設備の設置を進める。

対象者	市内の乳幼児から中学生まで	対象者数	9,066	単位あたりコスト	1.5
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
工事請負費	12,056	前田児童館照明器具LED化工事、額田児童館1階屋根防水改修工事			
備品購入費	336	防犯機器購入			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	28,556	12,543	55,110	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		28,556	12,543	55,110	
予算財源内訳	① 一般財源	756	1,743	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	24,900	10,100	53,100	
	⑤ その他特財	2,900	700	2,010	
決算情報	① 流充用額	△ 1,431	△ 152		
	② 配当予算	27,125	12,391		
	③ 執行額	23,222	12,392		
	④ 執行率	85.6%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.80 / 0.00	0.20 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	6,400	1,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		29,622	13,992		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	児童館改修事業基金繰入（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	623	37	
	児童館改修事業（脱炭素化推進）	民生債	5,600	49	
	児童館改修事業（過疎対策）	民生債	4,500	49	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	【定性的評価】	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	42,549	51,006	49,092	49,117		
	延施設利用人数	当初見込		31,120	42,549	51,006	49,092	51,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	児童館施設の維持管理に努める。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	児童館の安全で快適な施設管理を維持し、安心して遊び、学ぶことの出来る場所を確保するとともに、健全な児童育成を図ることができた。施設の維持管理に必要な経費に関する事業であり、利用者に不便が生じないよう、適切かつ効率的な予算執行により、健全育成を図ることができた。施設の維持管理を行っている。 【定性的評価】 夏季に遊戯室が高温になり、遊戯室で遊ぶことができない状況が続いている。
現状の課題に対する改善策	老朽化による施設機能の低下が著しいため計画的に施設改修を実施することにより施設利用者の増加を図る。 本事業における活動実績、成果実績の定量的な把握は困難である。 計画的に遊戯室の空調設置を進める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	出産・子育て応援事業							事業コード	030201202302		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり			
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成					施策コード	322			
事業担当	所属	170200 こども家庭部こども家庭支援課					所属長	荒賀 正之			
会計情報	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	01児童福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	119	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	出産・子育て応援事業交付金実施要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	母子保健事業、妊産婦健康診査事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 核家族世帯化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、子育て家庭が孤立しやすい状況になっている。また、各家庭で、仕事と子育ての両立に対する負担感が増している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 妊娠期から、産後、子育て期といつでも安心して相談できる窓口として認識してもらう必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施することで、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整える。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・妊婦や産婦に寄り添った伴走型支援（面談3回） ①妊娠届出時の面談、②出産前（妊娠6か月頃）のアンケート及び面談（希望制）、③出生後（3か月頃）の面談 ・妊娠届出時及び、出生後の面談を実施後、各5万円の支給

対象者	妊婦及び産婦	対象者数	1,080	単位あたりコスト	54.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	株式会社ケーケーシー情報システム					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	17	妊婦のための支援給付金申請・アンケート用紙購入			
役務費	95	妊婦のための支援給付金支給通知文送付			
委託料	960	妊婦のための支援給付システム構築・改修			
扶助費	53,250	妊婦のための支援給付金/出産・子育て応援給付金支給			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	57,328	53,211	54,166	0
	② 補正予算	1,326	0	0	0
	③ 繰越予算	△ 1,326	1,326	0	0
	前年度繰越	0	1,326	0	
	次年度繰越	△ 1,326	0	0	0
	小計（①～③）	57,328	54,537	54,166	
予算財源内訳	① 一般財源	9,589	1,397	52	
	② 国支出金	0	45,100	54,076	
	③ 府支出金	47,739	8,040	38	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 43	154		
	② 配当予算	57,285	54,691		
	③ 執行額	53,598	54,321		
	④ 執行率	93.6%	99.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.36 / 0.60	0.23 / 0.86	/	/
	② 概算人件費	4,560	4,248		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		58,158	58,569		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	妊婦のための支援給付交付金	民生費国庫負担金	44,550	14	
	重層的支援体制整備事業交付金	民生費国庫補助金	94	16	
	重層的支援体制整備事業交付金	民生費府補助金	47	23	
	出産・子育て応援交付金	民生費府補助金	4,082	23	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	87.9	89.2	88.9	85.9		
	産後十分なケアを受けたと感じる産婦の割合	目標値		90	90	90	90	90	
		達成度	%	98%	99%	99%	95%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	100	100	100	100		
	出産前における伴走型相談支援実施率	当初見込		100	100	100	100	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・出産前（妊娠6か月頃）のアンケート及び面談（希望制）								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・伴走型相談支援においては、妊娠期からの経過を追いながら、妊婦からの連絡がなかった際にもこちらからアプローチするなどし、妊婦と子育て相談総合窓口が機会を得ながらつながりの中で支援することができた。 ・妊娠から出産までに流産、死産された場合の対応（グリーフケア）のスキルアップが必要である。 ・令和７年度から新たに人工妊娠中絶をされた場合も支援の対象となり、ニーズは少ないが必要に応じて心身のケアを行う必要がある。
現状の課題に対する改善策	・伴走型支援に従事する職員がグリーフケアに関する研修会に積極的に参加し、対応スキルを蓄積する。 ・市内の助産師、産科のある医療機関と連携を図り、流産、死産、人工中絶を経験された人の心身のケアをおこなう。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	子育て応援まちづくり事業							事業コード	030201430360		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり			
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成							施策コード	322	
事業担当	所属	170200 こども家庭部こども家庭支援課					所属長	荒賀 正之			
会計情報	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	01児童福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	121・122	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	子ども・子育て支援法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	子育て交流・相談・支援事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 核家族世帯や転入者や共働き世帯の増加などにより、地域内でのつながりが希薄になる中で、子育て家庭が孤立しやすく、仕事と子育ての両立に対する負担感がある。一方で妊娠・出産・育児など子育てに関する情報は、WebやSNS上に溢れており容易に収集できる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 子育て世代がつながるためにも、子育て世代が自然と集うような場所や機会を設ける必要がある。三段池公園内の子育て世代の利用施設が多いという利点を生かして、交流を促していく必要がある。また、子育て世代から要望の多い雨天時に過ごすことができる場所としての機能を充実させる必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 福知山市ベビーファースト宣言のスローガンと5つのアクションプランに基づき、こどもを産み育てたくなる社会を実現していくために、行政のみならず、市民、事業者、企業、地域団体が一体となって子育て世代にやさしいまちづくりを進める。 子育て中の悩みや不安について相談したり、同じ立場の人と共有できるよう、子育て世帯が集う場や機会を設けることで、不安などを解消するとともに、子育て家庭の孤立及び児童虐待の防止を図るとともに、子育て世代の利用が多い施設が集合した三段池公園の特性を生かした事業や、既存施設の機能の強化を実施することで、三段池公園を中心とした子育てのまちづくりを進める。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・三段池公園総合体育館内の子育て支援拠点「りとるハピネス」において、子育て世代が集い、交流できる場の提供。こどもや子育て世代への電子書籍貸出サービスの実施。 ・「りとるハピネス」において、講座・イベントや子育てコンシェルジュによる相談事業の実施 ・ベビーファースト宣言の周知・啓発 ・子育て世帯が必要としている情報の発信をSNSを活用し充実させる（こそだてサポーター制度等） ・ベビーファースト推進市民ネットワークを立上げ、「子育てにやさしいまちづくり」に向けた具体的な取組を実践する
対象者	12歳以下のこども　　対象者数：7,609　　単位あたりコスト：4.5
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	姫路ナブコ株式会社、NECネクサソリューションズ株式会社　関西支社

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	393	ベビ―ファースト・りとるハピネスイベント講師謝礼	負担金補助及び交付金	86	りとるハピネス　電気・水道使用料
旅費	20	子育て支援員養成講座研修に係る旅費			
需用費	378	ベビーファースト・りとるハピネス消耗品購入			
役務費	215	ベビファdeCAMPに係る物品賃借			
委託料	186	りとるハピネス　自動扉保守点検業務委託			
使用料及び賃借料	178	親子運動教室・ベビファdeCAMP施設使用料金			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,699	1,979	2,360	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,699	1,979	2,360	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	240	190	170	
	③ 府支出金	206	154	138	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,253	1,635	2,052	
決算情報	① 流充用額	162	0		
	② 配当予算	1,861	1,979		
	③ 執行額	1,468	1,456		
	④ 執行率	78.9%	73.6%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.60 / 8.55	0.70 / 9.68	/	/
	② 概算人件費	28,740	32,704		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		30,208	34,160		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	重層的支援体制整備事業交付金	民生費国庫補助金	152	16	
	重層的支援体制整備事業交付金	民生費府補助金	127	23	
	子育て応援まちづくり事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	1,177	38	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人／日	1,438	4,605	4,888	5,073		
	地域子育て支援拠点（りとるハピネス）の平日利用者数（延べ）	目標値		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
		達成度	%	36%	115%	122%	127%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	**活動指標**		**単位**	**令和4年度**	**令和5年度**	**令和6年度**	**令和7年度**	**目標最終年度 令和8年度**	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	25	80	77	44		
	地域子育て支援拠点（りとるハピネス）におけるイベント開催数（延べ）	当初見込		40	40	40	40	40	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・利用者のニーズにそくしたイベントの開催 ・三段池公園の特徴をいかした拠点運営								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	**活動指標**		**単位**	**令和4年度**	**令和5年度**	**令和6年度**	**令和7年度**	**目標最終年度 令和8年度**	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・敷居の低い身近な相談先として、子育て支援拠点において、親子同士の交流を目的とした運営と合わせて専門職や支援制度の案内ができた。 ・各種親子向けイベントの実施により、三段池公園全体が親子向けの施設となるよう魅力を向上させることができた。 ・三段池公園の魅力の向上だけでなく、市全体として、子育てのまちづくりを進める必要がある。 ・地域子育て支援拠点として、親の学習の機会とニーズをあわせた形での講座を開催することができた。 ・令和７年４月にお城まつりで「ベビーファースト宣言」を発表し、イクボス研修会や産業フェアでの周知・啓発、ベビファdeCAMP（イベント）など実施し、多くの市民の参加を得て、子育てにやさしい地域の機運醸成を図ることができた。（こそだてサポーター登録数（令和7年度）：63団体　）（イクボス研修会　参加：55人　宣言者（令和7年度）：21団体）（ベビファdeCAMP　参加者：400人） ・ベビーファースト推進の取組みは行政中心とならないように、今後も市民、事業者、企業、地域団体と一緒になって取り組むことができるような体制や仕掛けづくりが必要。
現状の課題に対する改善策	・「子育てにやさしいまちづくり」をめざし、市民運動として、市民、行政、事業者、地域団体が連携する、「ベビーファースト推進市民ネットワーク」を立ち上げ、地域全体で子育てしやすい輪を広げる取組みを進める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	ファミリー・サポート・センター運営事業							事業コード	030201430385		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり			
	施策名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成							施策コード	322	
事業担当	所属	170200 こども家庭部こども家庭支援課					所属長	荒賀 正之			
会計情報	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	01児童福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	122・123	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	児童福祉法子ども・子育て支援法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	子育て短期支援事業、一時預かり事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 核家族世帯や転入者や共働き世帯の増加などにより、地域内でのつながりが希薄になる中で、子育て家庭が孤立しやすく、仕事と子育ての両立に対する負担感がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域とのつながりが希薄化する中で、市民どうしが支え合い子育てをしていく環境づくりが必要。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 保護者が用事や就労のために、一時的に安心してこどもを預けることができる相互援助活動を促進する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・アドバイザーを中心とした事業の円滑な運営 （1）事業周知による会員の募集及び、登録 （2）援助活動の調整 （3）援助活動を実施するにあたり必要な知識の提供（講習会の開催）

対象者	生後6か月から小学6年生までの登録があるこども	対象者数	814	単位あたりコスト	5.1
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	16	全国アドバイザー会議・担当者会議に係る旅費			
需用費	53	ファミサポ活動消耗品購入			
役務費	191	ファミサポ会員お知らせ送付郵送料、損害保険料加入			
使用料及び賃借料	6	ファミサポ公式LINEアカウント使用料			
負担金補助及び交付金	35	全国講習会・交流会参加費			
扶助費	682	ファミサポひとり親世帯等保護者支援助成金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	817	656	670	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		817	656	670	
予算財源内訳	① 一般財源	457	400	430	
	② 国支出金	180	128	120	
	③ 府支出金	180	128	120	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	326		
	② 配当予算	817	982		
	③ 執行額	771	982		
	④ 執行率	94.4%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.12 / 1.27	0.07 / 0.93	/	/
	② 概算人件費	4,516	3,164		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		5,287	4,146		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	子ども・子育て支援交付金	民生費国庫補助金	186	16	
	子ども・子育て支援交付金	民生費府補助金	180	23	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	97.9	99.1	99.2	99.5		
	依頼に対応することができた割合	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	98%	99%	99%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	17	21	27	21		
	新規援助会員数	当初見込		20	20	20	20	20	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	研修会や説明会の開催								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・必要とされる方のニーズに可能な限り応えることができるように調整をすることができた。 ・利用者（依頼会員）にも援助会員になることを勧めたことで、相互援助の実現につながっている。 ・地方新聞を活用しながら説明会を開催したことで、幅広い年代の会員に登録いただけた。 ・SNSの活用により、事業のイメージがしやすく活動や利用へのハードルを下げることができた。 ・幼稚園保護者向けに援助会員募集のチラシを配り、保護者同士の相互援助活動が増えた。 ・チラシを組回覧したことで、新規の援助会員の登録があった。 ・利用者にも、援助者にもさらに利用や入会のハードルを下げる案内が求められている。 ・急なキャンセルや予定時間になってもこどもを迎えに来ないなど、一部の依頼会員によるマナー違反が見られる。（援助会員の負担となっていることがある。）
現状の課題に対する改善策	・拠点預かり、送迎など援助しやすい活動方法の周知に力を入れる。 ・依頼会員に対し、利用する際のルールやマナーについて改めて周知徹底する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	子育て交流・相談・支援事業					事業コード	030201430386			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり			
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成				施策コード	322			
事業担当	所属	170200 こども家庭部こども家庭支援課				所属長	荒賀 正之			
会計情報	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	01児童福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	123 頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市子ども・子育て支援事業計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	児童福祉法子ども・子育て支援法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	子育て応援まちづくり事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 核家族世帯や転入者や共働き世帯の増加などにより、地域内でのつながりが希薄になる中で、子育て家庭が孤立しやすく、仕事と子育ての両立に対する負担感がある。一方で妊娠・出産・育児など子育てに関する情報は、WebやSNS上に溢れており容易に収集できる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 子育て世代がつながるためにも、子育て世代が自然と集うような場所や機会を設ける必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 子育て中の悩みや不安について相談したり、同じ立場の人と共有できるよう、子育て世帯が集う場や機会を設けることで、不安などを解消するとともに、子育て家庭の孤立及び児童虐待の防止を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・子育て支援センターや地域子育て支援ひろばにおける、子育て世代が集い、交流できる場の提供 ・保護者の方の悩みや相談を受けるとともに、必要に応じて適切な支援先や制度を紹介する ・多くの子育て世帯が集うイベントの実施（おひさまひろば）

対象者	就学前までのこども	対象者数	3,710	単位あたりコスト	9.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	NPO法人おひさまと風の子サロン、公益社団法人福知山市シルバー人材センター					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	31	子育て支援センターイベント講師謝礼			
需用費	998	子育て支援センター消耗品購入、電気ガス水道料金			
役務費	37	公用車車検整備、地域子育て支援拠点廃棄料手数料			
委託料	9,785	子育て交流・相談・支援事業業務委託料、拠点清掃			
備品購入費	725	子育て支援センタープリンター・地域子育て支援拠点マット購入			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	11,356	11,294	11,857	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	11,356	11,294	11,857	
予算財源内訳	① 一般財源	5,313	6,016	5,980	
	② 国支出金	3,721	3,439	3,706	
	③ 府支出金	2,322	1,839	2,171	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 28	396		
	② 配当予算	11,328	11,690		
	③ 執行額	11,042	11,576		
	④ 執行率	97.5%	99.0%		
人件概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.32 / 6.65	0.22 / 7.13	/	/
	② 概算人件費	21,180	21,724		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		32,222	33,300		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	重層的支援体制整備事業交付金	民生費国庫補助金	3,704	16	
	重層的支援体制整備事業交付金	民生費府補助金	2,170	23	
	建物総合損害共済災害共済金	雑入	71	43	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	9,125	10,913	12,439	13,243		
	地域子育て支援拠点（りとるハピネス除く）の利用者数（延べ）	目標値		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
		達成度	%	91%	109%	124%	132%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	198	192	192	189		
	地域子育て支援拠点（りとるハピネス除く）におけるイベント開催数（延べ）	当初見込		180	180	180	180	180	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・利用者のニーズにそくしたイベントの開催								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・利用者からの声を他の事業の実施につなげ、多くの子育て親子が参加できる機会を設けることができた。 ・利用者からの相談内容をもとにNPO法人と連携しながら、必要な支援につなげることができた。 ・各施設のそれぞれの魅力の発信とともに保護者のニーズにあわせた講座の開催が必要。 ・令和７年度より、子育て支援センターにおける相談、援助機能の充実を図り、個別支援が必要な２家庭の利用につながった。
現状の課題に対する改善策	・講座の内容を検討し、保護者が、施設を利用しながら学べる機会を増やしていく。 ・支援内容の充実を図るため、今後も職員の研修会を定期的に実施する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	児童公園維持管理事業						事業コード	030203430323		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり		
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成					施策コード	322		
事業担当	所属	170300 こども家庭部幼保支援課					所属長	吉田 真紀		
会計情報	款	03民生費	項	02児童福祉費	目	03児童福祉施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	127 頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	都市計画法、児童福祉法、福知山市開発行為に関する児童公園設置指導要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 児童福祉法、福知山市開発行為に関する児童公園設置指導要綱等に基づき整備、市への帰属を受けてきている。 地域における児童を対象に児童に健全な遊びや健康の増進、情操を豊かにすることができる児童厚生施設として役割を果たしている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 安心して利用できる児童公園を維持するためには、点検業務は欠かすことができない。 職員による定期的な日常点検と専門業者による点検を行い、安全な環境を維持している。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） こどもたちの成長を育む場の充実に向けて、児童及びその世帯がいつでも安心して遊ぶことのできる拠点としての機能を維持する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 市内の児童遊園の維持管理。 職員（用務員）による定期的な日常点検 遊具点検の結果を受け、優先度の高いものから計画的に遊具修繕等を実施。 直接管理地における除草作業、管理する便所の清掃を業者委託で実施。

対象者	市内在住の中学3年生までの児童生徒	対象者数	9,933	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	公益社団法人福知山市シルバー人材センター、新庄土建株式会社、株式会社スリーエス、西田工業株式会社				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	352	光熱水費、消耗品費			
役務費	183	廃棄物処分手数料			
委託料	1,576	草刈業務委託、トイレ清掃業務委託、遊具解体撤去業務委託、樹木伐採業務委託			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,698	1,364	1,782	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,698	1,364	1,782	
予算財源内訳	① 一般財源	1,597	1,263	1,681	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	101	101	101	
決算情報	① 流充用額	0	756		
	② 配当予算	1,698	2,120		
	③ 執行額	1,663	2,110		
	④ 執行率	97.9%	99.5%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.35 / 0.30	0.38 / 0.30	/	/
	② 概算人件費	3,640	3,880		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		5,303	5,990		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	電柱占用料（保育園、児童公園）	民生使用料	101	8	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	0	0	0	0		
	重大な事故件数 ※目標値を0件とするため達成度への反映は困難	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	6	3	6	6		
	業務委託件数	当初見込		10	10	10	10	10	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	利用者への安心安全な公園を提供するために定期的な巡回点検の実施								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	【自己評価】 職員による日常的な巡回点検や維持管理を実施することにより、安全管理に努めている。 【現状の課題】 遊具等による事故は確認されていないが、経年劣化による遊具修繕の必要性が高い箇所が多い状況である旨を、遊具点検業者から報告を受けており、優先順位を見極めた修繕対応等を実施していく必要がある。 また、自治会からの要望も毎年あるため、要望事項への対応を実施する必要がある。
現状の課題に対する改善策	遊具修繕については、年間に実施できる数も限りがあるため、優先順位をつけて複数年かけ計画的に実施していく。 専門業者による遊具点検の結果を受けて、現在、遊具修繕や撤去についての優先順位をつけている。今後、計画的な修繕等に努め遊具の長寿命化を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	放課後児童クラブ運営事業						事業コード	100501430304		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり				
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成					施策コード	322		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	204・205 頁
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	児童福祉法、福知山市放課後児童クラブの設置に関する条例、福知山市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	放課後児童クラブ整備事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 近年、共働き世帯の増加により、児童と家庭を取巻く環境は変化してきており、放課後や長期休業期間における児童の安心・安全な居場所の確保や次代を担う児童の健全育成など見守り支援を担っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 近年、利用児童数の増加や利用ニーズの高まりにより、放課後児童健全育成事業の必要性等が注目される中、児童支援員の安定的な確保が難しい状況がある。また、異年齢児童との関わりなどを通じて社会性を取得し、発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができる場としていくため、児童支援員の更なる育成や質の向上を図る必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 保護者や同居家族が就労等により昼間見守りができない児童に対し、放課後や学校休業日に安心して遊びや生活ができる場を提供するとともに、健全育成を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 対象者：小学1年生から6年生が対象で利用は事前登録・使用料が必要。 開設日：4月1日から翌年3月31日まで（日曜日及び祝祭日、12月29日から1月3日を除く） 開設時間：平日（月曜日から金曜日）は下校から午後7時まで、土曜日及び振替休日、長期休業期間は午前7時45分から午後7時00分まで 開設場所：全14の小学校区において15か所の児童クラブで運営中。直営12か所（惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修斉・遷喬・六人部・成仁・三和・夜久野・大江）、委託1か所（上豊富）、地元運営2か所（上川口・上六人部）

対象者	放課後児童クラブ登録児童	対象者数	1,577	単位あたりコスト	250.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	社会福祉法人上豊富福祉会、上川口放課後児童クラブ、上六人部放課後児童クラブ、(株)西日本エスエスシー、オリックス・ファシリティーズ(株)ほか					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
報酬	240,407	会計年度任用職員（放課後児童クラブ）に係る報酬	委託料	28,903	上豊富地区放課後児童クラブ運営業務委託料、放課後児童クラブに係る消防設備等点検業務、除草業務
職員手当等	40,777	会計年度任用職員（放課後児童クラブ）に係る職員手当等	使用料及び賃借料	179	デジタル複合機使用料、タクシー使用料
共済費	23,372	会計年度任用職員（放課後児童クラブ）に係る共済費	備品購入費	341	上豊富放課後児童クラブエアコン設置
報償費	100	講師謝礼	負担金補助及び交付金	12,563	上六人部・上川口放課後児童クラブに係る放課後健全育成事業補助金
需用費	4,598	放課後児童クラブに係る消耗品費、光熱水費、児童教材費			
役務費	3,423	郵送料、携帯電話料、スポーツ安全保険料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	251,511	304,176	365,061	0
	② 補正予算	55,377	57,650	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	306,888	361,826	365,061	
予算財源内訳	① 一般財源	94,501	147,546	198,241	
	② 国支出金	51,527	52,990	49,457	
	③ 府支出金	51,527	52,990	49,457	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	109,333	108,300	67,906	
決算情報	① 流充用額	△ 2,308	△ 4,728		
	② 配当予算	304,580	357,098		
	③ 執行額	299,959	354,662		
	④ 執行率	98.5%	99.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	3.00 / 5.00	3.20 / 5.00	/	/
	② 概算人件費	38,000	39,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		337,959	394,262		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	放課後児童クラブ使用料（現年度・過年度）	教育使用料	58,134	10	
	放課後児童クラブ運営事業（子ども・子育て支援交付金）	教育費国庫補助金	53,090	19	
	放課後児童クラブ運営事業（子ども・子育て支援交付金）	教育費府補助金	45,841	27	
	放課後児童クラブ運営事業基金繰入(ふるさと納税基金)	基金繰入金	50,000	38	
	電柱使用料（児童クラブ）	教育使用料	3	10	
	大正放課後児童クラブ一部使用電気代	雑入	37	42	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	94	93	93	92		
	保護者アンケートによるプラス評価	目標値		90	90	90	90	90	
		達成度	%	104%	103%	103%	102%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	箇所	26	26	27	29		
	児童クラブ開設支援の単位（教室）数	当初見込		26	27	27	27	27	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	児童が安心・安全な生活の居場所、今後の見守り等に役立てるため、常時利用の保護者を対象にlogoフォームを活用し保護者アンケート調査を実施（令和8年3月）した。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	【自己評価】 保護者にとって、就労時等に子どもを安心して預けられることは重要であり、その受け皿となる放課後児童クラブでの生活や遊びの場の提供に対しての期待は非常に大きいものがある。 【現状の課題】 ・放課後児童クラブの利用ニーズの高まりにより、放課後児童育成事業の必要性等が注目される中、児童支援員の安定的な職員確保が難しい状況である。 ・異年齢児等との関わりなどを通じて社会性を取得し、発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができる場としていくため、児童支援員の確保と共に、更なる支援員の育成や質の向上を図る必要がある。
現状の課題に対する改善策	・将来にわたり持続的で安定的な放課後児童育成事業を提供するため、国による保育士等処遇改善臨時特別交付金等の活用による職員の処遇改善等を進めながら、支援員の環境改善を図ることや、放課後児童支援員認定研修の受講を推進することにより有資格支援員を増やし、更なる質の向上や支援員育成などを図っていく必要がある。 ・また、持続的で効率的な運営体制の構築、サービス向上・多様なニーズへの対応に繋がる新しい仕組みなど、今後の放課後児童クラブの運営手法についても検討していく必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	放課後児童クラブ整備事業					事業コード	100501430399			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり				
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成			施策コード	322				
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	205 頁
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	児童福祉法、福知山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、福知山市放課後児童クラブの設置に関する条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	放課後児童クラブ運営事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 近年、共働き世帯の増加により、児童と家庭を取巻く環境は変化してきており、放課後や長期休業期間における児童の安心・安全な居場所の確保や次代を担う児童の健全育成など見守り支援を担っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 既存施設の老朽化、入部申込児童数の増加が年々顕著な状況になってきており、安心・安全な環境の維持が急務になってきている。今後の利用ニーズの把握など、計画的な施設整備や修繕を進めていく必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 児童の安心・安全な見守りの場を保障するために、必要な改修及び整備を行う。 共働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの利用者が低学年を中心に年々増加しており、保護者が安心して就労でき、放課後児童クラブを利用する児童が安全に過ごせるよう整備を行い、居室環境の向上を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 放課後児童クラブは、専用クラブ棟以外に旧幼稚園施設や小学校の空き教室等を利用して運営を行っているが、老朽化や利用者の増加等により児童が長時間過ごすには環境の改善が必要な施設がある。 【令和7年度実施工事等】 ・惇明放課後児童クラブ施設整備に伴う設計委託業務（令和6繰7年度）

対象者	放課後児童クラブ登録児童	対象者数	1,577	単位あたりコスト	5.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	株式会社東亜設計					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	7,912	惇明放課後児童クラブ施設整備に伴う設計委託業務			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		151,715	0	231,000	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		52,778	8,000	0	0
		前年度繰越	60,778	8,000	0	
		次年度繰越	△ 8,000	0	0	0
	小計（①～③）		204,493	8,000	231,000	
予算財源内訳	① 一般財源		1,872	0	25	
	② 国支出金		90,417	0	58,342	
	③ 府支出金		22,604	0	15,833	
	④ 地方債		89,600	8,000	146,800	
	⑤ その他特財		0	0	10,000	
決算情報	① 流充用額		△ 1,125	0		
	② 配当予算		203,368	8,000		
	③ 執行額		191,561	7,912		
	④ 執行率		94.2%	98.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.19 / 0.00	0.01 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		1,520	80		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			193,081	7,992		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	放課後児童クラブ整備事業（社会福祉施設整備）（繰越明許費分）	教育債	5,200	53	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	123.8	138.2	143.3	133.1		
	児童クラブ利用率（4月1日時点）	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	124%	138%	143%	133%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	1,040	1,040	1,080	1,160		
	児童クラブの利用定員	当初見込		1,040	1,080	1,120	1,120	1,120	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	児童クラブの利用ニーズについて、実態把握を図りながら、より安心で安全な生活の場が提供できる施設整備を計画的に取組みを進めている。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	【自己評価】 保護者にとって、就労時等に子どもを安心して預けられる環境、放課後等の居場所などの提供に対しての期待は非常に大きいものがある。 【現状の課題】 施設の老朽化、預け入れ人数の増加が年々顕著な状況になってきており、安心・安全な環境の維持が急務になってきている。ニーズの把握や優先順位を定めて、必要に応じた対応、施設修繕・整備を進めていく必要がある。
現状の課題に対する改善策	児童クラブの利用ニーズについて、正確な実態把握を行うとともに、より安心で安全な生活の場が提供できる施設整備を計画的に取組みを進めていく必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	こだま教育推進事業						事業コード	100501610114		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり			
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成					施策コード	322		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課				所属長	西村 憲二			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	205 頁
計画期間	開始年度	昭和53年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 全国で頻発する「いじめ問題」の解決に向けて、平成7年に「いじめ対策緊急市民会議」を設置していじめ根絶の取組の具体化を図ってきた。平成10年には家庭・学校・地域社会が連携して子どもに豊かな体験活動を提供する「心の教育」実践活動に発展改組し、「教育のまちづくり市民会議」の提言を受けて平成23年より「家族だんらんの日」事業の推進に取り組んでいる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ いじめ問題、地域のつながりの希薄化など現代的社会問題や課題を把握し、その解決に向け家庭・学校・地域が連携して取り組む。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 本市の社会教育の重点に基づき、市民全体の人間力の向上、特に次代を担う青少年の健全育成を目指して、家庭・学校・地域社会の連携を大切にして、市民総がかり・社会総ぐるみで活動を展開する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇掲示教育の推進：各自治会単位でこだま教育推進員を委嘱し、市内329箇所で月2回掲示文を板書している。 〇「心の教育」実践活動：教育行政、公民館、学校、関係団体による「心の教育」実践活動中央本部を設置し、各構成員が次代を担う青少年を健全に育成する必要性を認識するとともに、市民全体の共通認識となるよう「心の教育」実践活動の推進を図る。（各地域公民館ブロック市内計10ブロックに「心の教育」実践活動事業交付金を交付） 〇過去の家族だんらんの作文・絵手紙を福知山市立図書館中央館で展示（3月）

対象者	市民	対象者数	74,275	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	各ブロック「心の教育」実践活動実行委員会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	343	掲示黒板、賞状額、賞状用紙など			
役務費	101	郵送料			
負担金補助及び交付金	940	「心の教育」実践活動交付金10館			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		1,916	1,078	1,124	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			1,916	1,078	1,124	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	482	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		1,916	1,078	642	
決算情報	① 流充用額		299	307		
	② 配当予算		2,215	1,385		
	③ 執行額		2,215	1,385		
	④ 執行率		100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.14 / 0.53	0.12 / 0.53	/	/
	② 概算人件費		2,604	2,444		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			4,819	3,829		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	こだま教育推進事業基金繰入（ふるさと創生事業基金）	基金繰入金	1,078	35	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	定性的評価	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	箇所	337	335	333	329		
	掲示箇所数	当初見込		337	335	333	333	333	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	こだま教育推進員に年3回掲示文を発送し、月2回掲示文を板書していただいている。板書に使用する掲示板やチョークについては、希望があった場合は新しいものをお渡しさせていただいている。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	22,105	21,557	17,384	17,720		
	「心の教育」実践活動の参加人数（あいさつ運動は除く）	目標値		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	
		達成度	%	111%	108%	87%	89%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	ブロック	10	10	10	10		
	「心の教育」実践活動実施ブロック数	当初見込		10	10	10	10	10	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	各地域公民館計10ブロックに「心の教育」実践活動交付金を交付し、各地域の特性をいかした「心の教育」実践活動を推進する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○家庭・学校・地域社会が連携し、「あいさつ運動」、「家族だんらんの日」、「掲示教育活動」、「青少年学校外活動」など様々な活動を多くの地域で実施し、活動参加者も多くの方が関わっていることから、これらの活動が各地域で定着し、それぞれの地域実態にあった取組が進められていることは評価できる。 ○掲示教育は地域づくり、環境、人権等の啓発文を全市329箇所で掲示するもので、市民に教育のまちづくりに向けて、地域一丸での見守りの醸成を進めることができている。 ○掲示教育を行う事で、地域の方々の励ましの言葉や声掛け等、心温める地域交流が行われ、地域コミュニケーションのきっかけとなっている。 ○こだま教育掲示事業に関しては、高齢化に伴う掲示教育推進員の確保が課題である。長年お世話になっている推進員には、教育委員会から感謝状の贈呈や青少年健全育成活動推進者表彰の推薦を行い、日頃の活動に感謝し事業の広報に努めているが、掲示50周年を前に掲示教育の手法について見直しが必要な時期にきている。
現状の課題に対する改善策	○今後も継続して、少年を取り巻く現状を把握し、課題解決に向け、各関係機関と連携を図る。 ○「家族だんらんの日」推進企業・団体の登録数をさらに増やすため、今後も電子申請システムを活用しつつ、効果的な周知を行いたい。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	PTA連絡協議会共催事業						事業コード	100501630237		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち			政策目標	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり				
	施 策 名	2 地域全体で子育てを支える機運の醸成					施策コード	322		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課			所属長	西村 憲二				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	207 頁
計画期間	開始年度	昭和46年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・PTA活動を通して、子育てを学んだり、子どもたちが豊かな心を育み、健やかに成長できる環境作りの充実を図る。 ・代表者会議や指導者研修会、研究大会への参加を呼びかけ、子育てや安心・安全に向けた取組などPTA役員としての活動について学ぶ機会や意見交流する機会を設ける。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・教育の基盤である家庭教育を担う保護者に対しての支援、連絡体制の強化に加え、「親育て」についてもさらに重点を置き、研修を深める場を提供する。 ・多様な価値観からPTA離れが進んでいるとの指摘があり、PTAのあり方の検討が必要。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 子どもたちの豊かな心を育み、すべての子どもが大切にされる環境を実現するため、福知山市PTA連絡協議会の活動（会員相互の情報交換・交流、研修会による学び、関係機関との連携）を一層充実させ、会員相互の結び付きを強くする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・各校PTA代表者による会議を実施し、市PTAとしての活動の方向性を確認し、具現化していく。 ・市、中丹、府のPTA研修会に参加するなかで、保護者同士が交流し、保護者自身の成長につなげる。 ・市PTA等で知り得た情報や学びを参加者が単PTA（各校）へ持ち帰り、PTAの活性化に生かす。 ・府PTA研究大会福知山大会に府内のPTA会員、関係者が一堂に集い、会員相互の交流と学習を通して、子どもの豊かな成長と家庭教育の充実を図る。

対象者	各小・中学校PTA会員	対象者数	5,500	単位あたりコスト	0.5	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	7	府PTA指導者中央研修会			
負担金補助及び交付金	500	府PTA研究大会　福知山大会事業負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		124	547	84	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			124	547	84	
予算財源内訳	① 一般財源		124	547	84	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		△ 41	0		
	② 配当予算		83	547		
	③ 執行額		51	507		
	④ 執行率		61.4%	92.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.04 / 0.70	0.03 / 0.70	/	/
	② 概算人件費		2,280	2,200		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			2,331	2,707		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	382	401	488	968		
	研修会・大会等参加者数（延べ）	目標値		700	700	700	500	500	
		達成度	%	55%	57%	70%	194%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	13	12	13	13		
	事業開催数	当初見込		15	15	15	15	15	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	本部役員会、代表者会議については、各校PTA正副会長に案内を送付し開催した。研修会及び研究大会については、各校１～２名程度の参加依頼をし、各校より希望者が参加した。いずれも事前に予告し、十分に周知したうえで依頼した。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○コロナ禍以前に行っていた市PTA連絡協議会の年間事業を効果的な実施と負担軽減の視点で見直した。 ○PTAの是非に対する意見も一部あり、子どもたちのためのPTAへの理解を求めるための啓発を今後も進めていく必要がある。 ○各校PTAの意見交換を一層進め、時代に合った柔軟な活動のあり方、組織のあり方を模索していくことが必要である。
現状の課題に対する改善策	○少子化によるPTA活動の担い手確保が厳しくなる一方で、子育て支援への必要性は増す中、本市においても、子どもにとって価値あるPTA活動の視点から取組内容を見直してきた。今後も市PTA事業計画をより精選し、子育てや指導者の研修会、意見交流活動を大切にしていく。 ○できる人ができる形で関わるPTA活動を目指していくため、効率的に事業を行い、会員相互の親睦や地域の方々との交流を進めるなど、より一層親自身が包み込まれるような取組にしていく必要がある。 ○3回の代表者会議の内容を精選し、できるだけ各校PTAの意見交流の機会や時間を増やし、議論のできる市PTAを目指す。 ○成果実績の目標値について、児童・生徒数の減少によりPTA会員数の減少や働き方改革により、R7年度から500人に変更する。